

2013 takuma-gpCUP 選手権シリーズ車両規定

1.総合規定（一部適用外）

- (1)前輪・後輪に独立した有効なブレーキを装備していること。パッド・シュー・ワイヤー・ホースの変更は可。
- (2)ハンドルは左右に一杯に切った時、ライダーの指を挟まない間隔を確保してしていること。
- (3)性能を損なわず先端が丸ければ、レバー類・ペダル類（ステップホルダー含む）の変更は可。
- (4)走行中明らかに路面に接地する突起物は、安全上取り除くこと。（切断含む）
- (5)バックミラー・キャリア等のアクセサリ類は取り外すこと。ランプ類は飛散防止テーピングでも良い。
- (6)カウル等を取り外す場合はステーも取り外すこと。装着カウル類は転倒等で簡単に外れないよう固定すること。
- (7)サーキット別にフロントに22cm四角の発信機を使用することがあるので、簡単に脱落しない装着スペースを備えること。
- (8)オイルドレンボルト・給油口はワイヤーロックされているのが望ましい。していない場合は走行前に増締めのこと。
- (9)オイルキャッチタンク装備車は走行前に必ず空にすること。
- (10)極端に大きな排気音を出す車両は失格とし、走行できません。（主催者判断・参加料返還なし）
- (11)ラジエターを装着している車両はリザーブタンク又はキャッチタンクを装備のこと。サーモスタットの取外しは可。
- (12)市販状態のフレームとエンジンの組合せを変更してはならない。但し、NSR⇄NSR ミニ、NS50F⇄NS50R は互換性を認め、全ての部品の組合せが可。（但し、圧縮比等基本性能に変化の生じる組合せは不可）
- (13)フロントサスペンションの変更は不可。但し、インナーパーツの変更・改造及びスタビライザー・ステアリングダンパーの追加は可とする。リアサスペンションは取り付け位置を変更・改造しなければ変更可。
- (14)タイヤは競技用でなければサイズを含み自由。
- (15)キャブレターのキャッチタンクを装備のこと。

1.SPクラス

- (1)車両はNSR50、NS50、NSF100、XR100などの、12インチ、17インチの車両とし、排気量は2st49cc未滿。4st99cc未滿。
- (2)排気管の変更・改造は可。
- (3)4stは、桶川スポーツランドさんのSS100の車両規定に準じます。
- (4)このクラスは、ライダーの体重制限があります。フル装備重量（ツナギ・ヘルメット・グローブ・ブーツ装着時）で48kg（体重計測定）以下の方は、Mクラスの車両でもしくは、ノーマルマフラーでの出走になります。（車両のウェイト不可）
但しその他車種も主催者権限により出走する場合があります。

2 ST100 クラス

- (1)ST100（4スト、エイプ100・XR100、KSR110とする）

NSF100は参加できません。

エンジン、排気量は Ape100、XR100 は100cc以下。KSR110は111cc以下。

エンジンに手を加えることが認められない。バルブ径、リフトタイミングの変更も禁止。

その他、リンクスさんのST100クラス車両規定に準じます。

3 ポケバイククラス

(1)ノーマルクラスはライフ主催のライフポケバイクカップ規定ノビスノーマルクラスに準ずる。

（詳しくはライフ社ライフカップ車両規定で確認してください）

4 74Daijro クラス

(1)74Daijro クラスは DaijroCup 規定に準ずる。

（詳しくは74Daijro カップの車両規定で確認してください。）

5 KSR クラス

(1) KSR110に関して

排気量は、125cc 未滿厳守とします。

下記の部品の変更、交換を認めます。

エンジンオイル、ブレーキフルード等の液体類全般、シリンダ、シリンダヘッド、点火電装系全て（スパークプラグ、プラグキャップ、ハイテンションコード、コイル、CDI 等）スプロケット、チェーン、ワイヤー類、マフラー、キャブレターインナーパーツ、キャブレター本体、ブレーキパッド、タイヤ、マニュアルクラッチの装着、不要な部品の取り外し、アンダーカウルの装着、前後ブレーキ関係の変更交換、ハンドル交換、ハイスロットルの使用、電装系の変更（インナー、アウターローターへの交換は不可）オイルクーラー、ミッション、クランクケースの加工、キャブレター及び吸気系全般、フロントフォークのインナーパーツ、リアショック、ステップ、外装品の変更、ホイール。

(2) KSR-1,KSR-2 に関して（2サイクル車両）

排気量は、88cc 未滿厳守とします。

下記の部品の変更、交換を認めます。

エンジンオイル、ブレーキフルード等の液体類全般、シリンダ、シリンダヘッド、スパークプラグ、プラグキャップ、ハイテンションコード、コイル、CDI、スプロケット、チェーン、ワイヤー類、マフラー、キャブレターインナーパーツ、キャブレター本体、ブレーキパッド、タイヤ、不要な部品の取り外し、アンダーカウルの装着、前後ブレーキ関係の変更交換、ハンドル交換、ハイスロットルの使用、電装系の変更（インナー、アウターローターへの交換は不可）オイルクーラー、ミッション、クランクケースの加工、キャブレター及び吸気系全般、フロントフォークのインナーパーツ、リアショック、ステップ、外装品の変更、ホイール。

6 CBR250R クラス

(1)CBR250Rドリームカップの車両規則に準ずる。

ただし、保安部品を外したものであれば、参加可能。

2.ゼッケン

1、ミニバイク、CBRクラスは下の4つから選べます。

- ①黒地 白文字
- ②黄地 黒文字
- ③緑地 黒文字
- ④白地 黒文字

(1)ゼッケンの最低寸法は、下記の通りとする。

ナンバー：文字全体の縦の長さ120mm以上/太さ20mm以上

ゼッケンの地色スペースは、フロント、両サイドとも180mm×180mm以上の大きさとする。構造上、基準の寸法を設けられない車両は、その限りではない。

(2)サイドのゼッケンは、シートカウル表面に貼ること。これが不可能な車両は、ゼッケンプレートの取り付けを認め。使用禁止例：地色及び、ゼッケンナンバーには、ガムテープ、ビニールテープ、蛍光色、反射色（金、銀）の使用を禁止する。その他、影付文字など認識困難なものは不可とする。

2、ポケバイ、74Daijro クラス

(1) 主催者が用意したゼッケンを使用すること。

ただし、サーキットのレースと併催する場合は、そのレギュレーションにあわすこと。

車両規定追加

<注意事項>規定は悪意に拡大解釈を禁止します。不明と思われる項目は事務局へお尋ねください。

3、車両規定変更点

(1) ポケバイククラス

日本ライフ社主催のライフポケバイクカップ 2012 規定ノビスノーマルクラスに順ずる。

本規則書の文章転用、
コピーの無断使用を禁じます。

お問い合わせ先：

takuma-gp事務局 takuma-gpCUP係

112-0002

東京都文京区小石川2-25-10-1F

電話 050-3616-5386

ファックス 03-5805-7233

2013年1月版